

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-503331(P2000-503331A)

【公表日】平成12年3月21日(2000.3.21)

【出願番号】特願平9-525978

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 133/06

C 0 8 F 2/44

C 0 8 F 8/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 201/00

// C 0 8 F 20/10

【F I】

C 0 9 J 133/06

C 0 8 F 2/44 C

C 0 8 F 8/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 201/00

C 0 8 F 20/10

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月14日(2003.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年11月 14日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第525978号

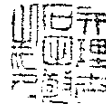
2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 査 査



請求の範囲

1. (a)少なくとも1種の C_4-C_{14} アルキル（メタ）アクリレートモノマー及び任意に少なくとも1種のコモノマーを含む重合性出発材料の反応生成物である、複数の高分子エラストマー微小球、

(b)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤、

(c)任意に、微小球100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤、

(d)微小球100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤、及び

(e)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を生じさせるに十分な量の連鎖延長剤

を含む接着剤組成物。

2. (a)(i)少なくとも1種の C_4-C_{14} アルキル（メタ）アクリレートモノマー及び任意に少なくとも1種のコモノマーと、

(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤と、

(iii)任意に、重合性モノマー出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤と、

(iv)重合性モノマー100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤と、

(v)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与える量の連鎖延長剤

を含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と

(b)前記（メタ）アクリレートモノマーと前記コモノマーを重合する工程とを含む、請求項1に記載の微小球接着剤の1工程重合方法。

3. (a)(i)少なくとも1種の C_4-C_{14} アルキル（メタ）アクリレートモノマーと、

(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤、モノマー用開始剤と、

(iii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約5重量部以下の量の界

面活性剤と、

(iv)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤と、

(v)水中油型懸濁液を形成するための水とを含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と

(b)重合性モノマー出発材料を部分的に重合する工程と

(c)懸濁液に少なくとも1種のコモノマーを加える工程と

(d)重合性モノマー出発材料の重合を続ける工程とを含む、請求項1に記載の微小球接着剤の2工程重合方法。

4. (a)(i)少なくとも1種の C_4-C_{14} アルキル(メタ)アクリレートモノマー及び任意に少なくとも1種のコモノマーと、

(ii)重合性モノマー出発材料100重量部あたり0.1～約2重量部の範囲の量で存在する、重合性モノマー出発材料用の開始剤と、

(iii)任意に、重合性出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤と、

(iv)重合性モノマー100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤と、

(v)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤

を含む重合性モノマー出発材料を含む水性混合物を攪拌する工程と

(b)前記(メタ)アクリレートモノマーと前記コモノマーを重合する工程とを含む、高分子エラストマー微小球を含む水性混合物の製造方法。

5. (a)(i)少なくとも1種の C_4-C_{14} アルキル(メタ)アクリレートモノマーと、

(ii)モノマー用開始剤と、

(iii)重合性出発材料100重量部あたり約0.1～約3重量部の量の高分子安定剤と、

(iv)重合性モノマー出発材料100重量部あたり約5重量部以下の量の界面活性剤と、

(v)前記微小球に30～98%のヘプタン可溶性部分を与えるに十分な量の連鎖延長剤と、

(vi)水中油型懸濁液を形成するための水とを含む重合性モノマー出発材料を含む混合物を攪拌する工程と

(b)重合性モノマー出発材料を部分的に重合する工程と

(c)懸濁液に少なくとも1種のコモノマーを加える工程と

(d)重合性モノマー出発材料の重合を続ける工程とを含む、高分子エラストマー微小球を含む接着剤組成物の製造方法。